

わが家で役立つ保険活用術

地震保険の重要性とその仕組み

今年5月、関東地方では「緊急地震速報」が相次いで鳴り、驚かされましたが、被害が出るような大きな地震ではなかったので安心しました。最近、地震が多く感じることから改めて災害に対する家庭での備えを紹介します。

防災グッズ

バック	非常持ち出し品を収納して、玄関先などに保管	
飲料水	1人3ℓ×3日分	
食料品	乾パン、缶詰、レトルト食品、カップラーメン、給水用ポリタンク、カセットコンロ・ボンベ、紙皿・紙コップ・割り箸、ラップフィルム	
衛生	マスク、消毒液、ウエットティッシュ	
情報	携帯ラジオ、乾電池、ソーラー付きスマホ充電器	

身を守る備えができれば、次は地震による住まいの損害について考えましょう。地震による損害には、火災保険とセットにできる地震保険があります。地震保険で補償される金額は、火災保険の保険金額の30%～50%までで、建物では最高5000万円、家財では1000万円まで加入できます。また、実際の修理費ではなく、損害の程度（全損、大半損、小半損、一部損）に応じて、保険金額の100%、60%、30%、5%の割合で支払われるので、地震保険の契約金額によって支払われる金額が変わってきます（火災保険のように、実際の修理費、再建費および再購入費を実額でお支払いするものではありません）。地震による火災の場合、火災保険は補償対象外となりますので注意が必要です。

次の3つに当てはまる人は、保険に加入する必要性が高いと思われます

- 住宅ローンの残債が多い
- 預貯金などの他の資産が少ない
- 被災時に収入が途絶える可能性が高い

該当される方は、加入されることをお勧めいたします。地震保険は建物を元通りに建て直す目的ではなく、生活再建のための一時金として考えます。建物とは別に家財にも保険をかけるなど、加入を検討されてはいかがでしょうか。



越川周一

2級ファイナンシャル・プランニング技能士

協力：総合保険代理店サンツクバ(株)